

令和7年度小学校教科担任制実施報告書(中学年型(第4学年))

学校名
府中町立府中中央小学校

1 学校の概要

(1) 学校の学級数

	通常学級							特別支援学級	合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
学級数	4	5	5	4	4	5	27	7	34

2 加配教員が専科指導を行う教科及び週当たりの担当授業時数

(1) 第4学年の指定教科等

指導教科等名	指導学年	指導学級数	1学級当たり時数(週)	授業時数(週)	兼務校での実施
算数	4	2	5	10	
理科	4	4	3	12	

授業時数 計 22 (a)

(2) その他

指導教科等名	指導学年	指導学級数	1学級当たり時数(週)	授業時数(週)	兼務校での実施
				0	

授業時数 計 0 (b)

授業時数 合計 22 (a)+(b)

3 教科担任制推進教員を配置した授業計画

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	道徳	外国語活動	総合	特別活動
週当たり標準授業時数	7		2.6	5	3	1.7	1.7	3	1	1	2	1
4年 1組 (担任: A)	A	C	A	A	推進	専科	A	A	A	A	A	A
4年 2組 (担任: B)	B	C	B	B	推進	専科	B	B	B	B	B	B
4年 3組 (担任: C)	C	C	C	推進	推進	専科	C	D	C	C	C	C
4年 4組 (担任: D)	D	C	D	推進	推進	専科	D	D	D	D	D	D

4 第4学年担任が指導を行う教科等及び週当たり授業時数

学年・学級	児童数(人)	担任	担任する学級以外の授業時数(週当たり)				担任する学級の授業時数	授業時数の合計
			指導学年・学級	教科等名	時数	時数計(c)		
4-1	34	A				0	23.3	23.3
4-2	33	B				0	23.3	23.3
4-3	33	C	4-1	書写	1	3	16.3	19.3
			4-2	書写	1			
			4-4	書写	1			
4-4	34	D	4-3	体育	3	3	18.3	21.3

5 成果と課題

(①授業の質の向上、②多面的な児童理解、③小・中学校の円滑な接続、④教師の負担軽減、⑤その他)

〈効果のあった取組〉	
①	学年内で、推進教員が中心となって算数の教材研究を行い、授業で活用するワークシートや掲示物等を作成した。また、児童がつまづきやすいポイントや単元の内容理解を深めるための工夫などを学年内で共有した。
②	4年生全クラスに専科教員として関わることで、学級担任だけでなく複数の教員が児童の日常的な学習の様子や人間関係を把握できる体制を築いた。
③	授業だけでなく、生徒指導でも4年生児童に関わり、児童が「担任以外の教員から学ぶ」という経験を積めるようにした。
④	4学年の算数において、推進教員が中心となり教材研究を先行して行い、学年全体で活用できるワークシートや指導資料を作成した。



〈成果〉	
①	教科担任制アンケートにおいて、「教科担任制で学ぶことで、勉強の内容がよく分かるようになりました。」という質問項目に肯定的回答をする児童は98.4%だった。また、標準学力調査の結果、学年平均正答率は全国平均より、算数+9.2ポイント、理科+8.6ポイントと上回った。全国平均を上回る児童は、算数67%、理科70%だった。学年全体で共通理解を図りながら授業改善を行ったことにより、児童の学習理解の深まりや授業の質の向上が見られた。
②	教科担任制アンケートにおいて、「教科担任制で学ぶことで、分からないことや困ったことを相談できる先生が増えました。」という質問項目に肯定的回答をする児童93%だった。児童が安心感をもって学習に取り組める環境づくりを進めることができた。
③	教科担任制アンケートにおいて、「中学校から教科ごとに先生が代わることに對して、不安がなくなりました。」という質問項目に肯定的回答をする児童90%だった。小学校段階から複数教員に指導を受ける体験を積んだことで、中学校進学への安心感が高まったと考えられる。
④	教材研究や資料作成を学年で共有することで、各担任は授業準備にける時間を軽減でき、その分他教科の教材研究や児童理解、学級経営に注力することが可能となった。

〈課題〉	
①	算数などの時数の多い教科において、専科が担当する場合、支援が必要な児童への学習指導が途切れ途切れになってしまうことがある。学級担任であれば、隙間時間などを活用して個別に補充指導を行えるが、教科担任制ではそれが難しい。
②	担当していない教科の内容を、児童がどの程度理解・定着できているのかが把握しにくい。支援が必要な児童への対応が遅れる可能性がある。



〈対策〉	
①	心配な児童には休憩時間を利用して、個別に声掛けを行い、学習状況の確認やフォローを行っている。また、授業の冒頭にミニテストなどを実施したり、単元の最後に単元の復習プリントを実施したりし、学習の定着状況を把握することで、必要に応じて重点的な支援につなげている。
②	担当教科の中で気になる児童については、学年会等で各担任と様子共有し、担任から声掛けを行ったり、家庭との連携を行ったりしている。